保存版

駒ヶ根市 防災ハザードマップ

赤穂地区

2018年12月 発行

駒ヶ根市役所危機管理課　TEL 0265-83-2111
駒ヶ根市赤須町20-1　FAX 0265-83-4348

我が家の防災メモ

我が家の避難所

家族の集合場所

名前	生年月日	血液型	勤務先・学校	携帯電話番号
			名称	
			TEL	
			名称	
			TEL	
			名称	
			TEL	
			名称	
			TEL	
			名称	
			TEL	
			名称	
			TEL	
			名称	
			TEL	

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

地震の欄に「×」がついている施設は、建物の耐震性が低い為、地震災害時は利用できません。
洪水・土砂災害の欄に「-」がついている施設は、災害の種類や規模によって、避難できない場合があります。

		施設名	地震	洪水	土砂災害
赤穂東小学校区（南割区・福岡区・市場割区・上赤須区・吉瀬）	拠点	赤穂南小学校 体育館			
	準拠点	赤穂中学校 体育館			
	1	駒ヶ根工業高等学校 体育館			
	2	福岡区第一自治組合集会所（公道館）			
	3	赤穂南幼稚園	×		
	4	大徳原集会所			
	5	大原いきいき交流センター			
	6	駒ヶ根市地域いきいき交流センター 福寿荘			
	7	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所			
	8	南割いきいき交流センター		-	
	9	南割第3いきいき交流センター		-	
	10	羽場下いきいき交流センター		-	
	11	望仙いきいき交流センター		-	
	12	横前いきいき交流センター		-	
	13	市場割いきいき交流センター			
	14	市場割南の原集会所			
	15	放下小平いきいき交流センター			
	16	宮の前いきいき交流センター		-	
	17	赤穂高等学校体育館			
	18	原城外いきいき交流センター			
	19	上赤須自彊館		-	-
	20	上赤須いきいき交流センター			
	21	上赤須南の原集会所	×		
	22	吉瀬集会所			-

		施設名	地震	洪水	土砂災害
赤穂小学校区（中割区・北割1区・北割2区・小町屋区・町1区・上穂町区）	拠点	赤穂小学校 体育館			
	準拠点	赤穂中学校 体育館			
	23	長寿荘	×		
	24	早稲田実業校舎体育館		-	
	25	塩木いきいき交流センター			
	26	荒井いきいき交流センター			
	27	下の坊いきいき交流センター		-	
	28	光前寺集会所		-	
	29	女体いきいき交流センター			
	30	柏木いきいき交流センター			
	31	北割保育園	×		
	32	大手中林集会所（公正館）			
	33	切石原いきいき交流センター		-	
	34	北原いきいき交流センター			
	35	馬場クラブ			
	36	久保いきいき交流センター			
	37	こまくさの湯		-	
	38	駒ヶ根キャンプセンター		-	
	39	農業担い手センター（至誠館）	×		
	40	すずらん保育園	×		
	41	家族旅行村（こぶしの湯）		-	
	42	社会体育館			
	43	小町屋公民館		-	
	44	下市場集会所（至信館）			
	45	小町屋北部いきいき交流センター（北心館）			
	46	高砂園		-	
	47	赤須町地域交流センター			
	48	赤穂公民館	×		
	49	長野県看護大学体育館			
	50	赤穂保育園			
	51	三和森クラブ			
	52	総合文化センター（小ホール）			

		施設名	地震	洪水	土砂災害
赤穂東小学校区（下平区・町2区・町3区・町4区）	拠点	赤穂東小学校 体育館			
	準拠点	赤穂中学校 体育館			
	53	飯坂保育園			
	54	飯坂体育館			
	55	駅前ビル アルパ（市民交流活性化センター）			
	56	ふれあいセンター			
	57	経塚保育園及び子育て支援センター			
	58	駒ヶ根市福祉センター	×		
	59	梨の木いきいき交流センター			
	60	小城いきいき交流センター			
	61	町2区13町内集会所			
	62	経塚いきいき交流センター			
	63	やまびこ荘			
	(49)	長野県看護大学体育館			
	64	大田切集会所	×		
	65	北の原いきいき交流センター			
	66	農業者トレーニングセンター			
	67	農村環境改善センター（一心館）			
	68	下平体育館			
	69	下平幼稚園			
	70	下平上の原いきいき交流センター			
	71	小鍛冶集会所			
	72	田沢青島いきいき交流センター			
	73	小屋集会所（城東館）			
	74	上手西いきいき交流センター			
	75	下平北の原いきいき交流センター			

		施設名	地震	洪水	土砂災害
中沢小学校区（中沢区・吉瀬をくく）	拠点	中沢小学校 体育館			
	準拠点	東中学校 体育館			
	76	中沢支所・公民館			
	77	中沢保育園	×		
	78	永見山生活改善センター	×	-	
	79	菅沼生活センター			
	80	下割協議所			
	81	中割協議所			
	82	上割農業生活改善センター		-	
	83	中山分館		-	
	84	大曽倉公民館		-	
	85	中間倉生活改善センター		-	
	86	下中曽倉生活改善センター		-	
	87	原いきいき交流センター		-	
	88	東伊那支所・公民館			
	89	東伊那保育園			
	90	伊那耕地いきいき交流センター		-	
	91	栗林集落センター		-	
	92	火山いきいき交流センター		-	
	93	塩田いきいき交流センター			
	94	福豊集会所	×	-	
	95	大久保いきいき交流センター		-	
	96	細田南集会所	×	-	

		施設名	地震	洪水	土砂災害
東伊那小学校区（東伊那区）	拠点	東伊那小学校 体育館			
	準拠点	東中学校 体育館			
		伊南聖苑			
		三和森公園			
	3	上伊那農協駒ヶ根支所構内		-	
	4	赤穂東小学校校庭			
	5	駒ヶ根市営グラウンド			
	6	赤穂小学校校庭		-	
	7	赤穂中学校校庭		-	
	8	国土交通省天竜川上流河川事務所駐車場		-	
	9	馬見塚公園			
	10	赤穂南小学校校庭			
	11	駒ヶ根駅前広場			
	12	向ヶ丘公園			
	13	美女ヶ森グラウンド			
	14	放下小平いきいき交流センター			
	15	農村環境改善センター前広場			
	16	中沢小学校校庭			
	17	東伊那小学校校庭			
	18	(有)泰成電機工業駐車場			
	19	西駒郷グラウンド			
	20	経塚保育園、市営美里団地一帯			
	21	長野県看護大学グラウンド			
	22	中沢農村広場グラウンド		-	-
	23	南割いきいき交流センター		-	
	24	エーデルにまがね駐車場			

指定避難所　災害時に一定期間滞在し、災害の危険性がなくなるまで避難生活をするための場所。

指定緊急避難場所　地震・洪水等の切迫した状況において、緊急に危険から逃れるために一時的に避難するための場所。

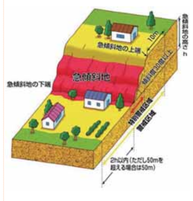
土砂災害の基礎知識と備え

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
土砂災害の恐れがある区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
建物が破壊され、
人々の生命に大きな被害が生じる恐れがある区域

突然発生するため、前兆現象に気づくことが重要です！

■がけ崩れ



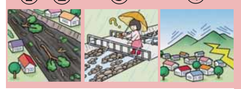
- 大雨や地震などをきっかけに、斜面が緩んで一気に崩れ落ちる現象

前兆現象

① 崖に割れ目がみえる。
② 崖から水が出る。
③ 崖から小石がパラパラと落ちてくる。
④ 湧水が吹き出す・濁る。
⑤ 山鳴りや異様な臭いがする。

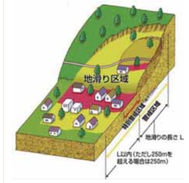
■土石流

- 大雨などにより、渓流の水が土石を巻き込んで一気に流れ下る現象



① 川の水が急激ににごる。
② 川に流木等が混ざる。
③ 雨にも関わらず、川の水位が急激に下がる。
④ 異様な臭いや音がする。
⑤ 近くで、山崩れや土石流が発生している。

■地すべり



- 地下水などの影響により斜面がゆっくりと滑るように動く現象

① 斜面に亀裂が走る。
② 湧水が吹き出す・濁る。
③ 地鳴りがする。
④ 斜面の木が傾く。
⑤ 根の切れる音がする。
⑥ 地表面の凹凸の発生。

■土砂災害の心得

- 雨量に注意しましょう。
（とくに1時間に20mm以上、連続して100mm以上）
- 土石流から逃げる時は川の流れる方向と直角に逃げましょう。
- 避難所の確認をしましょう。

■土砂災害の前兆現象を見つけたら

速やかに土砂災害警戒区域外もしくは避難所へ避難し、以下へ連絡してください。

駒ヶ根市役所	☎0265-83-2111
伊南北消防署	☎0265-81-0119
駒ヶ根警察署	☎0265-83-0110

地震の基礎知識と備え

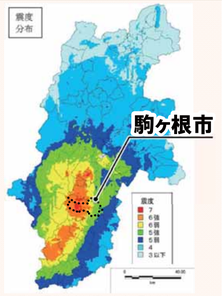
■ 駒ヶ根市に迫りくる地震のおそれ※1

現在想定されている主な地震は以下の通りです。
これら以外の強い地震も十分に起こりうえます。日ごろの準備をしっかり行いましょう。

想定される被害（駒ヶ根市の場合）※2

	最大震度	死傷者※3	最大避難者数（地震発生2日後）
伊那谷断層帯（主部）	7	2,970人（人口の約9%）	12,940人（人口の約38%）
糸魚川-静岡構造線（南部）	6強	110人（人口の約0.3%）	1,350人（人口の約4%）
南海トラフ巨大地震	6弱	270人（人口の約0.8%）	2,670人（人口の約8%）

※1　長野県地震被害想定報告書(2015)を参考にしています。
※2　最大震度：伊那谷断層主部(ケース3) 南海トラフ巨大地震（陸側ケース）冬18時・強風及び早朝風速時
　　人口は33,690人を想定（H22年度国勢調査）。
※3　伊那谷断層帯（主部）：死者2,570人・重傷者960人・負傷者1,740人。
　　糸魚川-静岡構造線（南部）：死者わずか・重傷者40人・負傷者70人。南海トラフ巨大地震：死者わずか・重傷者100人・負傷者170人。



伊那谷断層帯（主部）が動いた時の震度分布
ケース3の場合

■ 地震が起きるまでの準備

地震による被害は以下のような対策をとることで大幅に減らすことができます。
被害の想定に決して悲観することなく、今できることをしっかり行いましょう。

家の耐震診断・補強

家の耐震性を高めると、生存率が大きく高まります。

家具の固定

家具の転倒を防ぐことで、命が助かるだけでなく、家の外への避難の妨げとなることを防ぎます。

家族防災会議

家族で話し合い、避難場所・集合場所・連絡手段等を確認しましょう。

1人1人の家庭内備蓄

最悪のケースでは一日で備蓄食料が足りなくなると想定されます。各自の準備をお願いします。

■ 地震が起きたら・・・！

安全の確保

揺れが収まるまで、落下物から身を守れる場所へ移動しましょう。

揺れが収まったら火の始末

ガスコンロやストーブなどの火を消しましょう。それらの近くに燃えやすいものを置かないようにするのも大切です。

出口の確保

出口はゆれによる歪みによって開かなくなってしまうことがあります。早めに開けておきましょう。

近所の方と助け合う

近所の方と声を掛け合って、助け合いながら、徒歩で移動しましょう。

避難時の心得

非常持ち出し品リスト

避難するときにまず最初に持ち出すべきものです。
移動に支障のない量を、リュックサック等にまとめておきましょう。

非常食
- □ 水(1人1日あたり3リットル)
- □ 食糧(缶詰等日持ちするもの)
- □ 割箸・缶切り・栓抜き
- □ コップ・皿・ラップ

衣類など
- □ ヘルメット
- □ コンタクトレンズ（保存液なども）
- □ 生理用品
- □ 紙おむつ
- □ 雨具
- □ メガネ・入れ歯・補聴器など
- □ マスク
- □ 衣類等（下着・上着・靴下・タオルなど）

防災用品
- □ 乾電池
- □ 携帯電話の充電器
- □ カイロ
- □ ろうそく・ライターなど
- □ レジャーシート
- □ 携帯ラジオ（FM付き）
- □ ロープ
- □ ポリ袋

救急用品
- □ 救急セット
- □ 常備薬（お薬手帳）
- □ ウェットティシュ

貴重品
- □ 現金
- □ 健康保険証
- □ 免許証
- □ 預金通帳・印鑑

備蓄品リスト

復旧までの数日間を自活するためのものです。
家庭で備蓄しておきましょう。1人3日分以上が目安です。

食糧など
- □ 水（1人1日あたり3リットル）
- □ 食糧（缶詰等日持ちするもの）
- □ コップ・皿(プラスチックか紙製)
- □ 缶切り
- □ 卓上コンロ・ガスボンベ
- □ ペットの非常食

衣類など
- □ 衣類(下着・上着・靴下など)
- □ 防寒着
- □ 毛布・寝袋
- □ カイロ・解熱シート

日用品
- □ トイレットペーパー
- □ ろうそく・ライター
- □ 乾電池
- □ 簡易トイレ

災害時安否確認の方法

災害時は電話が混み合います。「171」を利用し安否を確認しましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」
局番なしの１７１にダイヤル

「171」
↓
「1」 伝言の録音　「2」 伝言の再生
↓
被災者の方の電話番号
○○○○-○○-○○○○

災害用伝言板「web171」
パソコンやスマホで以下のページを開く

https://www.web171.jp/
↓
空欄に被災者の方の電話番号を入力
○○○○(○○)○○○○
ハイフンなし
↓
伝言板の作成「登録」ボタン　伝言板の検索「確認」ボタン
↓
情報の入力　情報の確認
安否情報や伝言

毎月1日と15日や防災の日などに体験することができます。
事前に利用方法を確認しましょう。

駒ヶ根市危機管理課　駒ヶ根市赤須町20－1　TEL 0265-83-2111　FAX 0265-83-4348　2018年12月 発行

災害情報の提供・情報伝達の流れ

気象庁 長野地方気象台	長野県	国土交通省 天竜川上流河川事務所
気象情報 地震情報・大雨警報等	土砂災害警戒情報 雨量・水位情報	天竜川 雨量・水位情報

駒ヶ根市災害対策本部
気象情報・避難情報等
☎0265-83-2111
http://www.city.komagane.nagano.jp/

消防団　防災行政無線　CATV（音声告知）　インターネット(SNS)　メール　市広報車

住民のみなさん（行動すべきこと）

避難準備 高齢者等避難開始
- ■ 避難に時間のかかる高齢者などの要配慮者や支援をする方は**避難をしてください。**
- ■ 土砂災害の恐れや水位上昇の恐れのある川沿いの方はそれぞれの災害に対応した指定避難所へ避難することが強く望まれます。
- ■ その他の方は、避難の準備を整え、防災情報等に注意を払い、危険を感じたら自発的に避難を始めてください。

避難勧告
- ■ 災害に対応した指定避難所へ速やかに**避難してください。**
- ■ 指定避難所が危険と自ら判断する場合は近隣の安全な場所や、建物内のより安全な部屋（２階などの位置が高い・斜面の反対側に位置するなど)への移動等、**命の助かる可能性の高い避難行動**をしてください。

避難指示（緊急）
すでに災害が発生していても**おかしくない極めて危険な状況です**
- ■ まだ避難していない方は、災害に対応した指定避難所へ**緊急に避難してください。**
- ■ 指定避難所が危険と自ら判断する場合は近隣の安全な場所や、建物内のより安全な部屋への移動等、**命の助かる最大限の行動**をしてください。

駒ヶ根市メール配信サービス

駒ヶ根市では、登録者に対して防災情報やイベント情報などを配信するサービスを実施しています。

携帯電話から簡単に登録いただけます
1. t-komagane@sg-m.jp へ空メールを送信
2. 仮登録メール受信　受信したメール本文の URL をクリックすると「受信者登録」画面に移ります。
3. カテゴリー選択～登録　配信カテゴリーやお住まいの地域などを選択し、内容確認～登録へと進みます。
4. 以上で登録完了です　登録結果画面が表示されれば登録完了です。

下のＱＲコードを読み取ることで、簡単に空メールが送信できます。

お役立ち防災情報

- 駒ヶ根市 雨量観測情報 http://komagane.tenki.ne.jp
- 国土交通省防災情報提供センター http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/（PC 用） http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html（携帯用）
- 気象庁防災情報 https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html
- 長野県河川砂防情報ステーション http://www.sabo-nagano.jp/（PC 用） http://www.mobile.sabo-nagano.jp/m/（携帯用）

風水害の基礎知識と備え

■ 風水害の心得

日々の情報収集

テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象情報を得て、早めの避難を心がけましょう。

避難施設・経路の確認

各種災害に適応した避難施設と安全な避難経路を決めておきましょう。離れざるをえなくなった際の集合場所も決めておきましょう。

家屋の補強

日ごろから家屋を点検し、必要に応じて補強をしましょう。
窓の内側にガムテープをはることも効果的です。

複数での避難

1人での避難はできるだけ避けましょう。日ごろから動きやすく、風雨を防げる服装を準備しておくことも大切です。

車での避難の危険性

車の移動は、走行不能に陥り、閉じ込められたり、流されたりするなど非常に危険です。

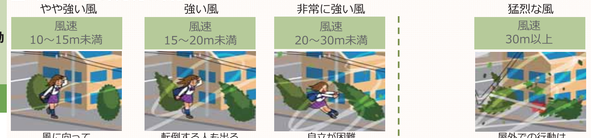
逃げ遅れたら・・・・
あわてずに、建物内の山や斜面と反対側に位置する2階の部屋などできるだけ安全が確保できる場所へ避難しましょう。

■ 雨の強さと降り方の目安

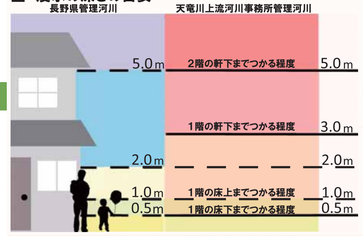
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間 10～20mm未満	1時間 20～30mm未満	1時間 30～50mm未満	1時間 50～80mm未満	1時間 80mm以上
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる

■ 風の強さと吹き方の目安

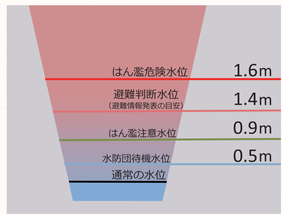
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風速 10～15m未満	風速 15～20m未満	風速 20～30m未満	風速 30m以上
風に向って歩きにくくなる	転倒する人も出る高所での作業は極めて危険	自立が困難飛来物によって負傷するおそれがある	屋外での行動は極めて危険



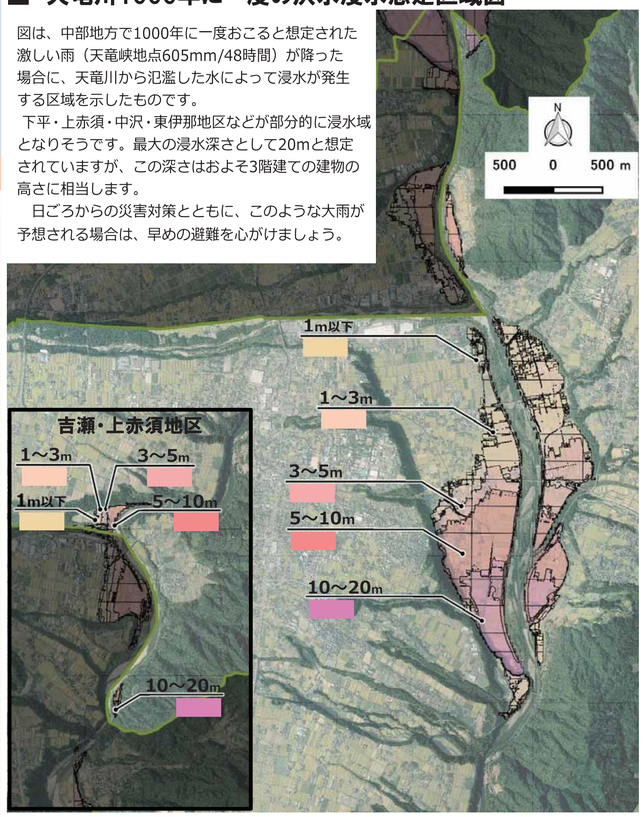
■ 浸水の深さの目安



■ 天竜川水位設定値　沢渡観測所



天竜川洪水浸水想定（想定最大規模）

■ 天竜川1000年に一度の洪水浸水想定区域図

図は、中部地方で1000年に一度おこると想定された激しい雨（天竜峡地点605mm/48時間）が降った場合に、天竜川から氾濫した水によって浸水が発生する区域を示したものです。
下平・上赤須・中沢・東伊那地区などが部分的に浸水域となりそうです。最大の浸水深さとして20mと想定されていますが、この深さはおよそ3階建ての建物の高さに相当します。
日ごろからの災害対策とともに、このような大雨が予想される場合は、早めの避難を心がけましょう。